



令和4年5月20日
九州地方整備局
長崎河川国道事務所

国道57号 ^{もりやまかくふく} 森山拡幅 ^{もりやまひがし} (森山東IC~^{もりやまにし} 森山西IC間)が
令和5年度に開通します

○国道57号^{もりやまかくふく} 森山拡幅は、高規格道路「^{しまばら} 島原道路」の一部を構成し、広域ネットワークの形成、国道57号の交通混雑の緩和や交通安全性の向上等を目的とした道路です。

○この度、^{もりやまひがし} 森山東IC~^{もりやまにし} 森山西IC間（延長3.3km）において、軟弱地盤の改良工事が完了し、残る工事工程を精査した結果、令和5年度に開通する見通しとなりましたので、お知らせします。

○引き続き、一日も早い開通に向け、工事を推進してまいります。

※今回開通区間のIC名称は『^{もりやまにし} 森山西IC』に決定しました。

○^{しまばらどうろ} 島原道路の整備による主な効果

①広域交通ネットワークの形成による地域産業活性化や観光振興を支援
<^{いさはや} 諫早IC・^{みなししまばら} 新幹線諫早駅から南島原市役所までの所要時間短縮>

^{しまばらどうろ} 島原道路全線未整備 : 所要時間 106分

今回開通時 : 所要時間 87分(約19分短縮)

②交通混雑の緩和や交通安全性の向上

問い合わせ先 :

国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所

技術副所長 ^{くどう} 工藤 ^{こういちろう} 浩一郎

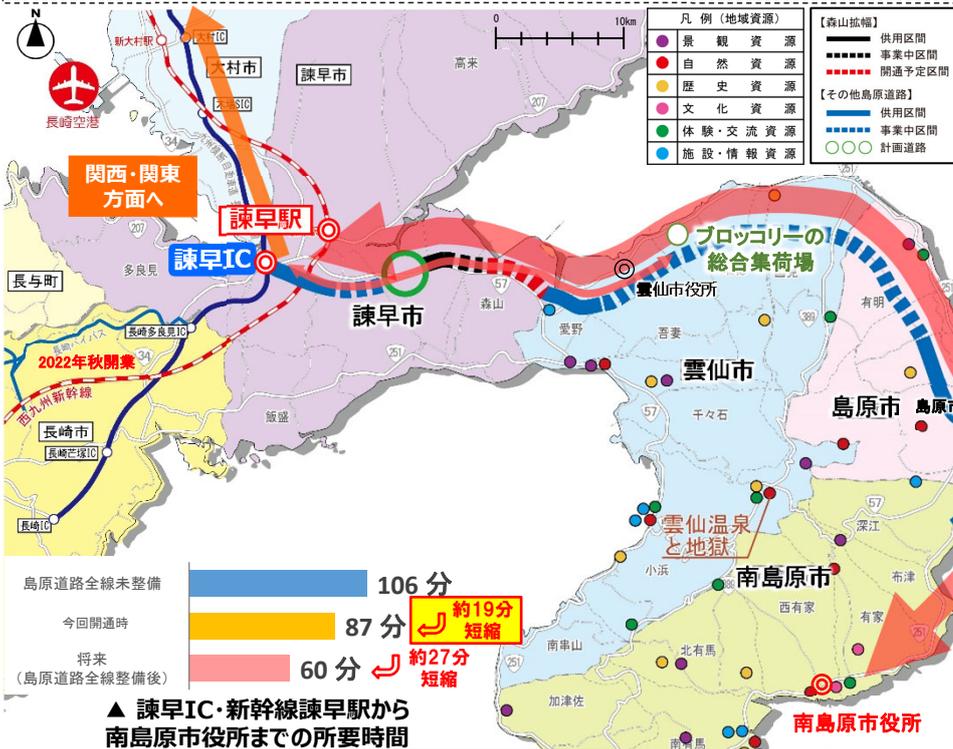
調査第二課長 ^{こやなぎ} 小柳 ^{まこと} 誠

TEL : 095-839-9211 (代表)

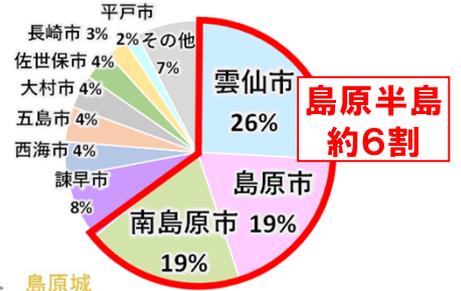
URL : <http://www.qsr.mlit.go.jp/nagasaki/>

広域交通ネットワークの形成による地域産業活性化や観光振興を支援

○島原道路の一部を構成する森山拡幅事業（自動車専用道路）の整備により、所要時間短縮や高速定時性確保が図られ、農産物等の物流効率化や、観光交流促進に貢献



島原半島の農業産出額は県内の約6割

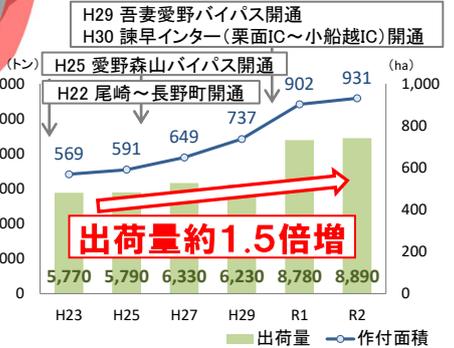


▲長崎県の農業産出額(野菜)の割合

資料：市町村別農業産出額（推計）（令和2年、農林水産省）

ブロッコリーの出荷額が増加

雲仙市の産出額は全国3位（長崎県内で1位）



▲ブロッコリーの作付面積・出荷量の推移（長崎県）

資料：作物統計調査，市町村別農業産出額（推計）（令和2年、農林水産省）

島原半島の観光客数
約401万人
(県内シェア15%)

資料：長崎県観光統計（R1）

島原半島には観光資源も数多く存在している



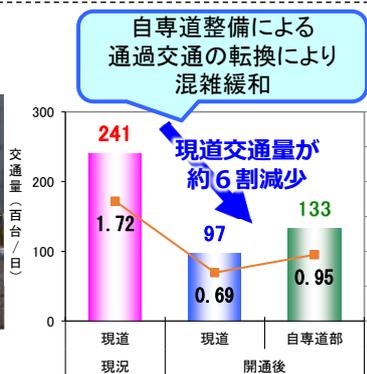
交通混雑の緩和や交通安全性の向上が期待

○自動車専用道路の整備による交通の転換により、国道57号の現道区間の混雑が緩和し交通安全性の向上が図られる



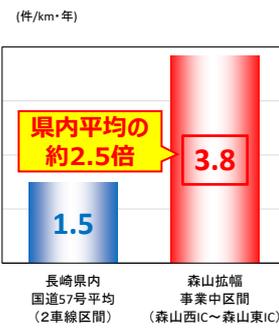
混雑時には歩行者や自転車の安全性が低下

混雑時には追突事故の危険性が増加



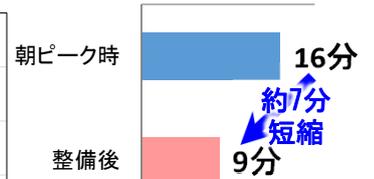
▲事業中区間の交通量の変化

資料：現況はH27全国道路・街路交通情勢調査
開通後は将来交通量推計に基づく予測値



▲開通予定区間の死傷事故件数

資料：交通事故統合データベース（H28～R1）



▲所要時間（愛野～長野町）

資料：ETC2.0（R2.4～R3.3，7:30～7:45）
区間：雲仙市愛野町～諫早市長野町（国道57号）
※整備後は残区間（森山東IC～尾崎IC間）を自専道（設計速度80km/h）で走行した場合を想定

▲事業中区間の混雑状況